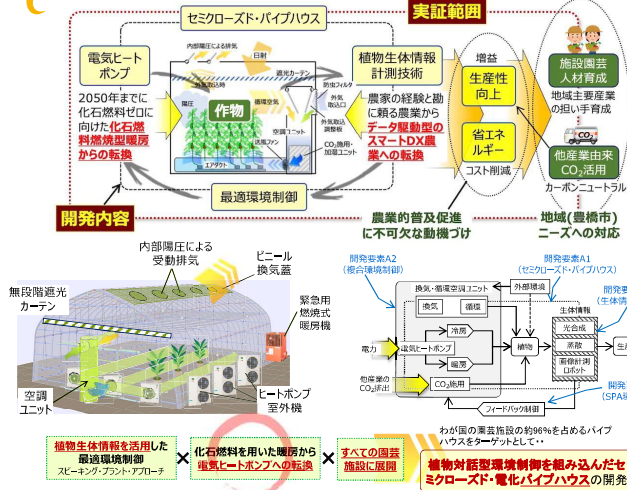


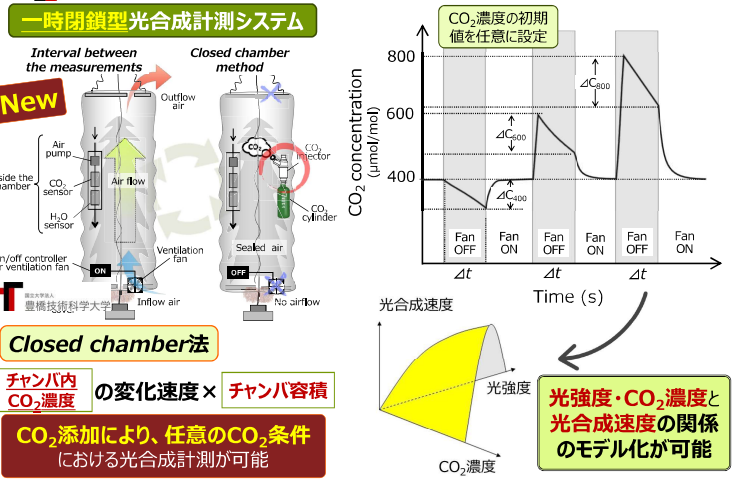
先端的植物生体情報計測技術の開発

高山弘太郎・戸田清太郎・東海林孝幸

Te セミクロード・電化パイプハウスの開発

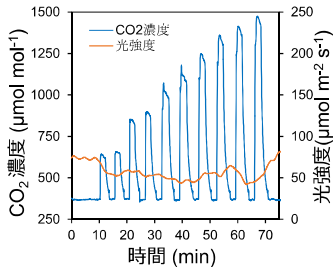


T 研究開発状況の報告 SC用光合成計測チャンバの開発

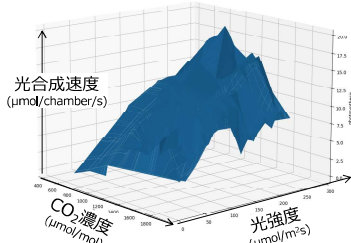


T 研究開発状況の報告 SC用環境応答モデルの試作

CO₂濃度の初期値を600~1500 μmol/molとして一時閉鎖型チャンバ法で光合成計測を行った。光強度は**なり行き**。



12/19の計測結果

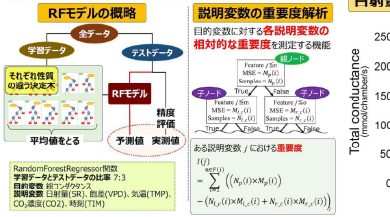


モデル化に有効な計測システムであることを確認

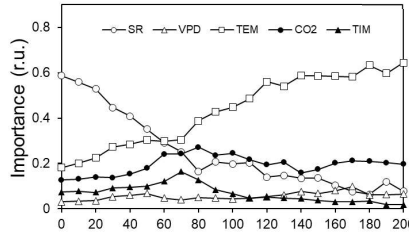
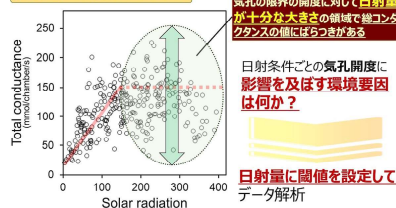
- 計測システムの動作安定化
- 生産現場における連続計測
- データの蓄積

T 研究開発状況の報告 SC用環境応答モデルの試作

ランダムフォレスト(RF)の重要度解析



日射量 vs. 総コンダクタンス



機械学習(ランダムフォレスト)を用いた気孔開度の環境応答モデルの構築と、各環境要因の重要度の分析によって...

光強度が強くなると、気温の影響が大きくなる

生育環境の違いによるバジルの香りの変化

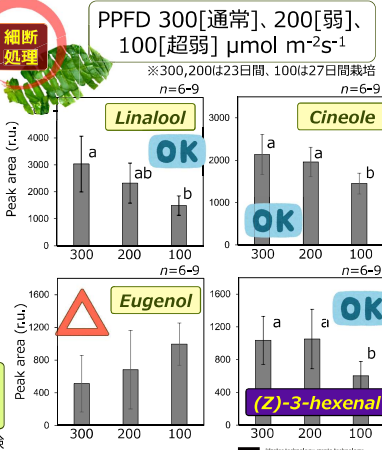
コンテナ型栽培システム



異なる光強度で栽培することで、異なる香りのバジルを生産できるのか?

消費者の多様なニーズに応えるCX※を最大化するスマートフードシステム

※Customer experience: 消費者体験



貯蔵環境の違いによるバジルの香りの変化

New! リテール栽培システム



スーパーマーケット等の店頭で設置し、消費者が購入する直前までハーブ類の生育を維持※
※通常は収穫後に冷蔵保存された状態で販売

ファームボックス vs 冷蔵保存
実験 ※ハーブ類を価値付ける香りを比較

